

# ボランティア活動で得た財産

私は、学生時代は技術教育講座の水谷好成先生の研究室に所属し、小・中学生向けのロボットや電子工作について勉強していました。学生時代に取り組んだボランティア活動は、小・中学生向けのロボット教室で行われるロボットの組み立てや制御についての指導です。月に数回、科学館や小・中学校に出向き、子どもたちとロボットを通して「ものづくり」の「心」と「楽しさ」を伝えながら、一緒に過ごした時間は、楽しく充実した時間でした。中学校技術・家庭科の教員を目指していた私にとって、ロボットについての知識や経験を得ながら、子どもとのかかわり方について考え、実践できたことは、とてもよい経験となりました。

近年、子どもたちの理数離れが話題に



なって久しいですが、ロボット教室に参加していた子どもたちは、悪戦苦闘しながら、



ロボットを製作し、自分が思ったとおりに制御できたときには、「やった!」と歓声を上げて喜び、本当にうれしそうな表情をします。その顔に出会うたびに、さらに楽しくロボットについて学び、工夫し、創造して、より目指す動きに近づけようと真摯に取り組むように活動させるためにはどうしたらよいかを考え、実践するエネルギーとなりました。ボランティア活動で培ったコミュニケーションスキルやロボットの知識、指導方法は、教員になった今、生徒がつまずきやすい場面を予測し、その支援の方法を工夫することや、道具の正しく安全な使い方の説明など、多くの場面で生きています。そして何より、ボランティア活動を通して、多くの人と出会い、人と人とのつながりが広がったことは私にとって大きな財産となっています。



大崎市立古川西中学校 教諭

## 小野寺 俊一

Shun-ichi Onodera

大学院教育学研究科修士課程 教科教育専攻 生活系教育専修  
平成22年3月 修了

